

指導者用資料 後期（8～9年生）用

中学2年～中学3年生

（1）指導のねらい

- ①自分の行動を振り返り、自転車事故から自分の身を守る意識を高める。
- ②自転車は安全な乗り物ではないことを知り、交通ルールを守ることの大切さを確認する。
- ③被害者の声をもとに、事故が及ぼす影響の大きさを考え、命を自分で守る意識を高める。

（2）指導案

①導入

- ・大阪府箕面市で実際に起こった自転車事故をもとに作成した教材であることを紹介。

②展開

- ・学習のめあてを提示。
自転車を安全に利用するにはどうすれば良いかを考える。（※1）
- ・映像を最後まで鑑賞する。
発問「あなたが感じたことはどのようなことか」（※2）
（意見を交流）
- ・交通ルールを守らず、自転車を利用することについて振り返る。
命にかかわる問題であること
家族や友人にも影響を与える問題であること
- ・決意発表
発問「交通事故やヒヤリとした体験はあるか」（※3）
（意見を交流）
発問「今後どんなことに気をつけるか、決意を発表する」（※4）

※1～4について、1枚のワークシートを作成し、活用する

③まとめ

- ・自転車に乗った瞬間に、自己責任がついて回ること。
- ・その責任を自覚することが、何よりも大切で、自他のかけがえのない命を守ることになる。